

『日本古代氏族系譜の基礎的研究』が刊行されました。

経済学部出版助成の3冊めとなる、鈴木正信著『日本古代氏族系譜の基礎的研究』が、このたび東京堂出版より刊行されました。

経済学部出版助成は、滋賀大学経済学会による助成制度で、2008年3月に発足しました。

日本古代氏族系譜の基礎的研究

鈴木正信 著

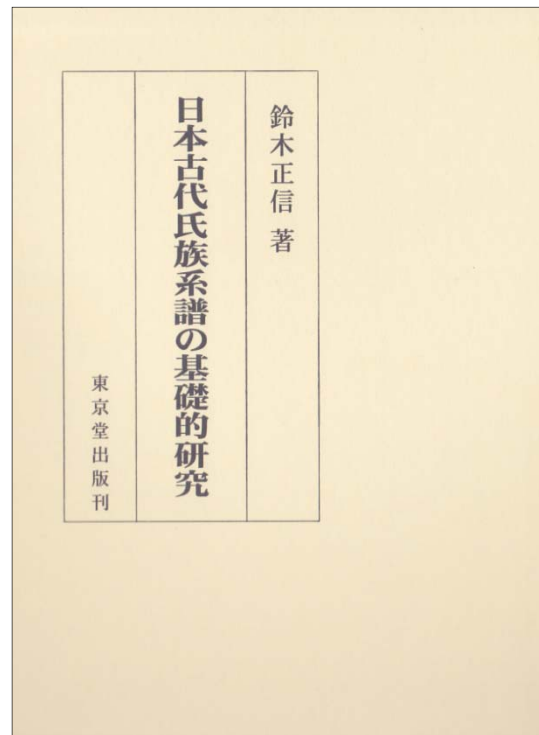
東京堂出版

2012年7月刊行

A5版 536頁

¥12,600 (税込み)

ISBN978-4-490-20797-2



系譜・系図から古代氏族の実態を解明。系譜研究の新たな方向性を示す。

日本の古代氏族が編纂した系譜・系図を手がかりに、古事記・日本書紀からは知りえなかった古代氏族の実態や、系譜が編纂された時代背景・伝世過程を解明。系譜研究の新たな方向性を示した意欲的論考。紀氏・出雲氏・大神氏など、系譜・系図の翻刻を多数載録。

[目次]

序章 氏族系譜研究の現状と分析視角

第Ⅰ部 系譜からみた氏族の成り立ち

第一章 『紀伊国造次第』の成立とその背景

第二章 紀伊国造の成立と展開

第三章 『紀伊国造系図』の成立過程と構成

第四章 紀伊国造と日前宮鎮座伝承

第Ⅱ部 同祖系譜の諸相と地理的展開

第一章 美濃国クルスダ地域と本巢国造

第二章 額田国造の本拠地をめぐって

第三章 美濃・近江の国造の同祖系譜

第四章 甲斐国造の「氏姓」と氏族的展開

第Ⅲ部 古代氏族系譜の伝世過程

第一章 紀伊国造の系譜とその諸本

第二章 出雲国造の系譜とその諸本

第三章 大神氏の系譜とその諸本

終章 氏族系譜研究の展望